# 請願・陳情文書表（６月定例会）

30．6．1

| 受理番号 | 件名 | 受理年月日 | 要旨 | 提出者 | 紹介議員 | 付託委員会 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 請願第２号 | 子どもたちと向き合う時間の確保に関する件 | 30．5．23 | （趣旨）<br>学校現場における課題が複雑化・困難化する中で子どもたちのゆたかな学びを実現するためには、教材研究や授業準備の時間を十分に確保することが不可欠である。<br>特に小学校においては、18 年度から新学習指導要領の移行期間に入り、外国語教育実施のため授業時数の調整など対応に苦慮する状況となっている。さらには、相対的貧困率を見ても分かるように、近年、課題を抱えた子どもたちは増加傾向にある。<br>そんな子どもたちに教職員が寄り添うためには、学校現場にゆとりが必要なことは言うまでもない。明日の日本を担う子どもたちをはぐくむ学校現場において、教職員の長時間労働是正は喫緊の課題であり、そのために教職員定数改善は欠かせない。<br>義務教育費国庫負担金の負担割合が２分の１から３分の１に縮小されたことや地方交付税削減の影響、厳しい地方財政の状況などから、自治体において教育予算を確保することは困難となっている。<br>地方財政が逼迫している中、少人数教育の推進、学校施設、旅費・教材費、就学援助・奨学金制度など教育条件の自治体間格差も拡がっている。<br>さらに、就学援助受給者の増大にあらわれているように、社会全体として低所得者層の拡大・固定化が進んでおり、所得の違いが教育格差につながっている。<br>教育予算を国全体として、確保・拡充させる必要があることから、次の事項の実現について、地方自治法第 124 条の規定により請願する。<br>記<br>１　「子どもと向き合う時間の確保」をはかり、きめの細かい教育の実現のために、少人数学級を推進すること。<br>２　学校施設整備費、就学援助・奨学金、学校安全対策など、教育予算の充実のため、地方交付税を含む国の予算を拡充すること。<br>３　上記の項目について、政府等関係機関に対し、意見書を提出すること。 | 豊岡市京町３番６号<br><br>豊岡市教職員組合<br><br>執行委員長<br>藤本（ふじもと）　丈永（たけひさ） | 青山憲司<br>西田　真<br>足田仁司 | 文教民生委員会 |